

3.長期プラン

①フードバレー・スマートシティ館林をつくる

②アートバレー・エンタメシティ館林をつくる

フードバレー・スマートシティ館林

①について、大学・研究機関のないまちは、人口減少と少子高齢化の中で生き残ることはできません。そのゆえに、館林市邑楽郡の全域をキャンパスにした農業と食品の最先端総合大学・研究機関をつくるのです。日本版ワーヘニンゲン大学(仮称:館林大学)を創設します。この大学のミッションは、日本の農業と食品産業を世界最先端にすることです。この目的の成果として、日本が、西の農業食品大国であるオランダに比肩する東の農業食品大国になることです。

若い世代が希望をもてるまちづくり・大学研究機関と農業食品の最先端企業の集積地をつくることがないならば、未来に持続可能な館林市は存在できません。

アートバレー・エンタメシティ館林

②について、人は、仕事し食べるために生きているわけではありません。フードバレー・スマートシティ館林プロジェクトは、研究とビジネスの未来都市づくりです。これに対して、もう1つのプロジェクトとして、アートバレー・エンタメシティ館林プロジェクトを策定します。

人は、広い意味で、いろいろな芸術文化やスポーツ文化に触れて自ら体験するとき、喜びを感じ、楽しく美しく力強く生きていくことができるのです。

アートバレー・エンタメシティ館林は、芸術文化とスポーツ文化がエンターテインメント産業として栄えるまちづくりをします。具体的には、

1)「音楽の都・館林」をつくる

2)「地域スポーツクラブの先進都市」をつくる

音楽の都・館林が花ひらく

1)について、館林市には、オーケストラ楽団、第九合唱団、オペラ団体、バレエ団体が活動しています。アートバレー・エンタメシティ館林は、これらの団体の活動と連携をしっかりと支援し、さらに育成します。

公民連携で、「芸術学校」をつくります。芸術学校は、芸術に強い関心をもつ子どもが芸術の各専科で学習・鍛錬できる機会を提供します。芸術家が講師として指導します。芸術学校は、芸術人材を育成するだけでなく、学校の探究学習とも深く連携します。

「シンタデバヤシ音楽祭」が、館林市5町の連携によって、開催されます。地元企業とのコラボを通じて、エンターテインメント・イベントを開発していきます。

アートイベントとエンターテインメント産業づくり

日本の伝統音楽や伝統芸能とフュージョンした「クラシック音楽」のオーケストラ演奏、合唱、オペラ公演、バレエ公演を企画します。

ファッションと音楽とダンスが融合した個性あふれるファッション・ショーと実施します。地元の服飾企業や、美容企業、ラグジュアリー企業とコラボします。

演劇と舞台美術とデジタルアートサイエンスが融合したミュージカル・フェスを実施します。地元の食品企業と食品流通企業とコラボします。

アニメ音楽演奏会とコスプレイベントがコラボしたアニメ・ファッションショーを実施します。医療・福祉・教育アート企業とコラボします。

絵画美術・立体美術とデジタル・アートサイエンスが融合したアートフェスティバル・トリエンナーレを実施します。地元の建設業や建築デザイン企業とコラボします。

これらのいろいろな芸術祭のすべてがアートビジネスです。アートバレー・エンタメシティ館林は、これらのアートビジネスがエンターテインメント産業として発展するように、まちづくりを実施します。

アートとグルメとスイーツのまちづくり

芸術を楽しんだ後は、グルメとスイーツを楽しむ時間です。フードバレーであり、アートバレーにふさわしいグルメの名店や名物メニューを開発し育成します。

3大煮込み鍋うどん

うどんのまち・館林に磨きをかけます。

「味噌煮込み鍋うどん」のまちをつくります。名古屋の味噌煮込み鍋うどんは、全国にとどろく名物です。館林の味噌煮込み鍋うどんを名古屋と並び立つように磨きをかけます。そのために、地鶏と味噌を開発します。

「キムチ煮込み鍋うどん」のまちをつくります。東毛地域は、おいしい白菜の一大名産地です。白菜を高付加価値食品にするために、キムチ製造企業を育成します。おいしいキムチとニラと豆腐と「もちぶた」で、キムチ煮込み鍋うどんを名物に育成します。

「すき焼き煮込み鍋うどん」のまちをつくります。すき焼き鍋は、群馬県の郷土料理に指定されています。館林市のすき焼き煮込み鍋うどんが絶品名物になるように育成します。

「3大煮込み鍋うどん」を、館林市のグルメ名物に育成します。

館林市の名品・純米酒のまちづくり

日本酒が世界各地で着実に人気を高めています。その背景には、日本食の市場が着実に拡大していることがあります。フードバレー館林にふさわしい有機米を開発・栽培します。戦略的輸出品となる「有機純米酒」を開発・製造し、ブランドを確立します。有機純米酒ビジネスが、館林市の基幹産業になるように、育成します。

コーヒー、ザッハトルテ、ジェラートのまち

ザッハトルテは、音楽の都・ウィーンの名物スイーツです。フードバレー館林は、アートバレー館林は、「おいしいコーヒーとザッハトルテのある珈琲店」を支援します。

また、高温が続く猛暑シーズンには、おいしいジェラートが不可欠です。ジェラート開発製造企業を育成します。いろいろな個性あふれるオーガニック・ジェラートを開発します。市内のコーヒー喫茶店への配送・保存システムも確立します。

地域スポーツクラブの先進都市づくり

2)について、地域スポーツクラブは、行政と地元企業とプロスポーツ企業がコラボした新しいビジネスモデルです。

アートバレー・エンタメシティ館林は、既存ビジネスとスポーツビジネスが融合した組織経営、スポーツ指導者の育成、スポーツ選手の育成、サポーターの育成、試合・大会の企画を含めた地域ぐるみの応援体制づくりをしていきます。

水辺を活用し楽しむビジネスのまちづくり

「ウォーターフロントシティ・館林」のまちづくりをします。館林市邑楽郡は利根川と渡良瀬川に囲まれた河内(かわち)の大地です。里沼や渡良瀬遊水地があります。ボート、カヌー、ウィンドサーフィンを楽しむまちづくりをします。ボートスポーツ関連産業を育成します。行政、学校、ボートスポーツ企画企業、ボートスポーツ施設企業、ホテル・宿泊施設、食堂・レストラン、ボートレジャー・旅行会社などを連携させます。ボートスポーツおよびボートレジャー関連産業を育成します。

関東地方のサイクリングの中心都市づくり

「サイクリングシティ・館林」のまちづくりをします。館林市は、関東平野の中央に位置しています。利根川や渡良瀬川や渡良瀬遊水地には、サイクリングロードがあります。土手の頂点は、とても見晴らしがいい。サイクリングロードを走りながら見る川の風景や眼下に広がる田園の景観は、とても美しい。

市内の道路は、隣接する県のサイクリングロードにつながっています。東毛地域に接する群馬県、栃木県、埼玉県、茨城県、千葉県もサイクリングロードが発達しています。

もちろん、市内から郊外を巡るサイクリングも楽しい。館林市役所から出発し、邑楽町役場、大泉町役場、千代田町役場、明和町役場、板倉町役場そして館林市役所にもどる東毛地域一周コース。この地域は一体であることを実感できます。バイクスポーツ企業、ホテル・宿泊施設、食堂・レストラン、旅行・イベント会社などを連携し、サイクリング関連産業を育成します。

関東平野のど真ん中で輝くエメラルド・シティ

この東毛地域のすべてが、田園森林公園地域であり、館林大学の連合国際キャンパスです。

館林市は関東平野のど真ん中に位置します。2つの大河の川内です。すばらしい地下水に恵まれた大地です。館林市民が英知を結集するとき、館林市は楽しく美しく力強いまちに発展します。

館林市広域圏は、関東平野のど真ん中でエメラルドのように美しく輝く日本のグリーンキャピタル(日本の環境首都)になるように創造していきましょう。

おわり